

# 臨床検査医学

## Clinical Laboratory Medicine

教授 北島 勲 Isao Kitajima  
助教授 小方 則夫 Norio Ogata  
助手 小澤 哲夫 Testuo Ozawa

### ◆ 研究概要

癌, 血栓症, 感染症 (肝炎ウイルス, 全身性炎症反応症候群を中心) における分子病態解析と骨・軟骨再生医学

### ◆ 著書

- 1) 北島 勲: 副甲状腺機能検査, 医学書院医学大辞典 (伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨編), 東京, 医学書院pp2138, 2003.
- 2) 小方則夫: デルタ (D型) 肝炎ウイルスゲノム: 特異的なゲノム構造・複製と病原性との関連. 新世紀の感染症学 (下巻): ゲノム・グローバル時代の感染症アップデート. (山口恵三, 岩本愛吉編), 日本臨床社, 東京, pp634-639, 2003.
- 3) 小方則夫, 島木貴久子, 桑守美千代, 高島修太郎, 渡辺明治: ウイルス肝炎対策: 医療系学生のB型肝炎ワクチン接種状況および獲得HBs抗体評価の問題. CAMPUS HEALTH第40巻, 全国大学保健管理協会, 京都, pp252-253, 2003.

### ◆ 原著

- 1) Shibakura M, Niiya K, Kiguchi K, Kitajima I, Niiya M, Asaumi N, Huh N-K, Nakata Y, Harada M, Tanimoto M: Induction of interleukin-8 and monocyte chemoattractant protein-1 by doxorubicin in human small-cell lung carcinoma cells. *Int. J Cancer* 103: 380-386, 2003.
- 2) Sarker KP, Biswas KK, Yamakuchi M, Lee KY, Hashiguchi T, Kuracht M, Kitajima I, Maruyama I: ASK-1-p38 MAPK/JNK signaling cascade mediates anandamide-induced PC12 cell death. *J. Neurochem* 85 (1):50-61, 2003.
- 3) Arisato T, Sarker KP, Kawahara K, Nakata M, Hashiguchi T, Osame M, Kitajima I, Maruyama I: The agonist of the protease-activated receptor1- (PAR) but not PAR3 mimics thrombin-induced vascular endothelial growth factor release in human smooth muscle cells. *Cell Mol Life Sci* 60 (8):1716-24, 2003.

- 4) Sugimori K, Kawaguchi Y, Morita M, Kitajima I, Kimura T: High-sensitive analysis of serum C-reactive protein in young patients with lumbar disc herniation. *J Bone Joint Surg Br* 85(8):1151-1154, 2003.
- 5) Ogata N, Ichida T, Aoyagi Y, Kitajima I: Development of peptide nucleic acid mediated polymerase chain reaction clamping (PMP C). Direct sequencing method for detecting lamivudine-resistant hepatitis B virus (HBV) variants with high sensitive and specificity. *J. Jpn. Soc. Lab. Med. [Rinsho Byori]* 51: 313-319, 2003.
- 6) Ogata N, Takashima S, Shimaki K, Kuwamori M, Kitajima I, Watanabe A: Antibody to hepatitis B surface antigen (anti-HBs) induced by recombinant hepatitis B vaccine consisting of subtype adr antigen is underestimated on the World Health Organization (WHO)-standardized assay. *Inter. Med.* 42 (5):446-447, 2003.
- 7) Okoshi S, Ogata N, Ichida T: The long-term clinical outcome of 1-year treatment of chronic hepatitis B with lamivudine-5 year observation. *Hepato Res.* 27:13-17, 2003.
- 8) 安村敏, 樋口清博, 多葉田祥子, 道野淳子, 西野主真, 三崎拓郎, 北島 勲, 渡辺明治, 塩原康司, 平井 肇, 西野治身, 鍛治友昭: 抗IgA抗体保有者の抗体価測定の意義と輸血上の対応. *日本輸血学会雑誌* 49(5)646-652, 2003.
- 9) 岩城有佳, 森田未香, 多賀由紀子, 野手良剛, 吉田郁子, 小澤哲夫, 北島 勲: *Serratia marcescens* の nuclease による PCR 産物の分解. *検査と技術* 13:468-469, 2003.
- 10) 奥田忠行, 松井祥子, 柴原直利, 関根道和, 上野智浩, 大門良男, 北島 勲: 血液ガス分析機器の相違による Pco<sub>2</sub> 値乖離の検討. *臨床検査* 47:553-558, 2003.
- 11) 延野真弓, 角田美鈴, 林 史朗, 大門良男, 北島 勲, 大野雅範, 木下良治: 総Ca測定における問題点とその改良薬—「エスパ・Ca」の有用性—医療と検査機器・試薬26 (3):235-239, 2003.
- 12) 奥田忠行, 野手良剛, 桑原卓美, 川島猛志, 大門良男, 梅野克身: 市民ランナーを対象とした好氣的・嫌氣的トレーニング効果の評価—自覚的最大酸素摂取量 (peakVo<sub>2</sub>), 嫌氣的代謝域値 (AT) および生化学分析より—富山県臨床検衛生検査技

師会誌 29:9-11, 2003.

- 13) 多賀由紀子, 岩城有佳, 森田未香, 野手良剛, 吉田郁子, 小澤哲夫, 北島 勲: メタローβ-ラクタマーゼ産生菌の保有調査. 富山県臨床衛生検査技師会誌 29:16-19, 2003.
- 14) 桑原卓美, 坂本純子, 扇谷晶子, 田村なおみ, 小澤哲夫, 北島 勲: ITPが遺伝する. 先天性血小板減少症. Medical Tecnology 31:893-896, 2003.

#### ◆ 総 説

- 1) 北島 勲: 骨吸収マーカー; デオキシピリジノリン, I型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTTx), I型コラーゲンCテロペプチド (ICTP). 総合臨床 52:101-107, 2003.
- 2) 北島 勲: 医学教育実践の場としての大学検査部の役割. JACLaP News 68:4-5, 2003.
- 3) 北島 勲: シリーズ最新医学講座・II. シグナル伝達概要. 臨床検査 47, (1):89-101, 2003.
- 4) 北島 勲, 奈良信雄, 溝上雅史, 前川真人: 新しい血清マーカー. Medico 34(4):16-30, 2003.
- 5) 北島 勲: 臨床検査医学のコア・カリキュラムへの対応 (国立大学). 臨床病理 51:357-361, 2003.
- 6) 北島 勲: 卒前の検査医学教育における実習のあり方. 臨床病理 51:983-994, 2003.
- 7) 北島 勲: 大腿骨頭壊死とアポトーシス, 医学のあゆみ 205(10):824-828, 2003.
- 8) 北島 勲: 遺伝子情報 (SNPs, シグナル伝達) を活用した疾患分子病態解析検査. 日本臨床化学会九州支部例会誌 13:1-10, 2003.
- 9) 小方則夫: SIRS, sepsisと敗血症: 定義の意義と今後. 化学療法の領域 19:941-946, 2003.
- 10) 延野真弓, 北島 勲: 高Mg血症をみたらCa測定法に注意. Medical Practice 20:695, 2003.
- 11) 扇谷晶子, 北島 勲: 関節リウマチ診断におけるリウマトイド因子とMMP 3同時測定の有効性. Medical Practice 20(8):1417, 2003.
- 12) 坂本純子, 北島 勲: 慢性肝疾患に併発した糖尿病の血糖コントロール指標に何が最適か. Medical Practice 20(11):1955, 2003.
- 13) 北島 勲: 廃用性筋萎縮に関連する転写因子同定とその発現調節による筋肉機能保持療法開発. The Nakatomi Foundation Annual Report 14:28-31, 2003.
- 14) 北島 勲: 臨床検査データ - の読み方. 平成15年度富山医科薬科大学公開講座テキスト: 1-14, 2003.
- 15) 北島 勲: 動脈硬化Up to Date. 第17回中部

地区生理検査研修会テキスト: 1-18, 2003.

- 16) 小方則夫: 症候からみた腹部超音波診断のすずめかた. 平成15年度富山医科薬科大学公開講座テキスト: 15-28, 2003.
- 17) 北島 勲: 第22回東海・北陸臨床検査学会支部例会開催にあたって. 第22回東海・北陸支部例会抄録集 2-3, 2003.
- 18) 大門良男: 検査部運営のためのマネージメント. 第22回東海・北陸支部例会抄録集 9:2003.
- 19) 北島 勲: 書評: 臨床検査医学データブック2003-2004. 医学界新聞2534号, 2003.
- 20) 北島 勲: 書評: フォローアップ検査ガイド. 医学界新聞2546号, 2003.

#### ◆ 学会発表

- 1) Kitajima I: Development of Laboratory testing systems and Research for new biomarker. Seminar of Pathology Core Lab and Biomarker Discovery Center, Johns Hopkins Medical Institutions. 2003, 12, 1.
- 2) Ozawa T., Tanaka Y., Imanaka T., Kitajima I.: Intracellular behavior of antithrombin Morioka (Cys95Arg), a mutant protein causing type I deficiency: escape from intracellular protein degradation systems and accumulation within newly formed RussellBody-like structures. The International Society on Thrombosis and haemostasis, XIX Congress, Oral Communication, July 2003, Birmingham, UK.
- 3) Tokoro T, Kitajima I: The novel HMG-CoA reductase inhibitor, Pitavastatin. Induce a protective action in vascular endothelial cells through the production of nitric oxide. Cardiovascular Research Center/MGH Kenneth D. Boch's Lab Meeting, 2003, 11, 24.
- 4) Tokoro T, Kitajima I: Behavioral analyses of ATRX mutant mice. Novartis Institutes for BioMedical Research. En Li lab Meeting. 2003, 11, 25.
- 5) Hirai T, Sakurai K, Tani M, Kaneyama T, Nozawa T, Asanoi H, Kitajima I, Inoue H: Elevated levels of fibrin monomer as a predictor of thromboembolism in patients with atrial fibrillation. The 67th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. March 28, 2003 (Fukuoka).
- 6) 北島 勲: 関節リウマチの骨破壊と骨粗鬆症発症メカニズム. 第1回熊本骨粗鬆症研究会 2003年

- 2月15日(熊本).
- 7) 北島 勲: 遺伝情報(SNPs, シグナル伝達)を活用した疾患分子病態解析. 第13回臨床化学九州支部総会 2003年2月22日(福岡).
  - 8) 北島 勲: 生活習慣病における転写因子調節異常と分子病態解析. 第47回日本臨床検査医学会九州地方会 2003年2月22日(福岡).
  - 9) 北島 勲: 遺伝情報をいかに医療現場に伝えるか. 日立ハイテクノロジーズ・ライフサイエンスセミナー, 2003年3月6日(日立那珂市).
  - 10) 北島 勲: どうする・どうなる臨床検査. 第26回日本医学会総会分科会, 第7回日本臨床検査医学会特別例会 2003年4月3日(福岡).
  - 11) 北島 勲: ポストシーケンス時代の臨床検査医学と独立行政法人化後の検査部を考える. 信州大学検査部セミナー, 2003年10月14日(松本).
  - 12) 北島 勲: 血栓症予知マーカーとしての可溶性フィブリンモノマー測定の有用性. 第50回日本臨床検査医学会総会ランチョンセミナー. 2003年10月30日(広島).
  - 13) 北島 勲: 骨代謝異常からみた関節リウマチの病態. 第12回京都骨代謝研究会. 2003年11月6日(京都).
  - 14) 北島 勲: 骨代謝異常からみた関節リウマチの骨破壊機序. 第76回日本整形外科学会学術集会. 2003年5月25日(金沢).
  - 15) 北島 勲: 消化器疾患におけるReversed CPC. 平成15年度富山医科薬科大学公開講座 2003年8月3日(富山).
  - 16) 北島 勲: 動脈硬化Up to date. 第17回中部地区生理検査研修会. 2003年11月15日(高岡).
  - 17) 小方則夫: 症候からみた腹部超音波診断のすすめ方. 平成15年度富山医科薬科大学公開講座 2003年8月3日(富山).
  - 18) 多賀由紀子, 岩城有佳, 森田未香, 野手良剛, 吉田郁子, 金森志津子, 中村政雄, 林 淑子, 林喜代志, 北島 勲: メタロ- $\beta$ -ラクタマーゼ産生菌の検出. ディスク法と微量液体希釈法との比較. 第42回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会. 2003年3月9日(名古屋).
  - 19) 佐竹伊津子, 細谷孝子, 本波春香, 林 史朗, 大門良男, 藤木 明, 北島 勲: 単極胸部ホルター心電図検査の有用性. 第42回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会. 2003年3月9日(名古屋).
  - 20) 所 崇, 谿 忠人, 北島 勲: 第三世代HMG-CoA還元酵素阻害薬Pitavastatinの一酸化窒素(NO)を介した血管内皮細胞保護作用. 日本薬学会第123回年会. 2003年3月26日(長崎).
  - 21) 小方則夫, 高嶋修太郎, 島木貴久子, 北島 勲, 渡辺明治: B型肝炎ワクチン接種による獲得HBs抗体評価の問題. 第100回日本内科学会総会. 2003年4月1日(福岡).
  - 22) 坂本純子, 角田美鈴, 北島 勲: 臨床評価とグリコヘモグロビンとの間で乖離を示した糖尿病におけるグリコアルブミンの臨床的有用性. 第46回日本糖尿病学会年次学術集会. 2003年5月22日, (富山).
  - 23) 杉森一仁, 川口善治, 金森昌彦, 石原裕和, 大森一生, 北島 勲, 木村友厚: 腰椎椎間板ヘルニアにおける高感度CRP値の検討. 第76回日本整形外科学会学術集会. 2003年5月25日(金沢).
  - 24) 大門良男: 検査部運営のためのマネージメント. 第22回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会2003年8月30日(富山).
  - 25) 野手良剛, 岩城有佳, 森田未香, 多賀由紀子, 吉田郁子, 大門良男, 小澤哲夫, 北島 勲: RS-PCR法による臨床分離菌の同定. 第28回北陸臨床病理集談会. 2003年9月7日(金沢).
  - 26) 吉田郁子, 多賀由紀子, 森田未香, 岩城有佳, 野手良剛, 大門良男, 北島 勲: 当院における臨床分離株のシプロフロキサシンの薬剤感受性について. 第28回北陸臨床病理集談会. 2003年9月7日(金沢).
  - 27) 森田未香, 多賀由紀子, 吉田郁子, 岩城有佳, 野手良剛, 大門良男, 北島 勲: 酵母用真菌感受性測定キットを用いた臨床分離株の検討. 第28回北陸臨床病理集談会. 2003年9月7日(金沢).
  - 28) 尾川智美, 川島猛志, 谷みね子, 大門良男, 小澤哲夫, 北島 勲: エバテストFM測定試薬による全血可溶性フィブリンモノマー複合体測定の基礎的検討. 第28回北陸臨床病理集談会. 2003年9月7日(金沢).
  - 29) 中島晶子, 上野智浩, 柴 則子, 高倉理恵, 延野真弓, 大門良男, 北島 勲: RIA法からEIA法による血中脳性Na利尿ペプチド(BNP)測定導入にむけての基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会第35回大会. 2003年9月18日(横浜).
  - 30) 柴 則子, 森田未香, 上野智浩, 高倉理恵, 延野真弓, 中島晶子, 大門良男, 北島 勲: 臨床的有用性の向上をめざしたBEP-IIIを使用したアデイボネクテン測定的基础的検討. 日本臨床検査自動化学会第35回大会. 2003年9月18日(横浜).
  - 31) 福永寿晴, 中村正人, 奥田忠行, 濱田敏彦, 東由佳: 血液ガス測定用標準物質を用いた北陸3県

- 合同サーベイ. 日本臨床検査自動化学会第35回大会. 2003年9月18日(横浜).
- 32) 菅生昌高, 藤木 明, 常田孝幸, 坂部優夫, 西田邦洋, 水牧功一, 佐竹伊津子, 林 史朗, 井上博: 24時間ホルター心電図から求めた健常成人例の心拍数別QT時間-年齢と性別の影響. 第20回日本心電図学会 2003年9月(東京).
- 33) 所 崇, 北島 勲: 第三世代HMG-CoA還元酵素阻害剤(Pitavastatin)の一酸化窒素(NO)を介した血管内皮細胞保護作用. 第14回日本臨床化学会東海北陸支部総会. 2003年9月27日(名古屋).
- 34) 小方則夫, 渡辺明治, 高嶋修太郎: HBワクチン種とHBs抗原サブタイプの相違がHBs抗体評価に与える影響. 第7回日本肝臓学会大会, 2003年10月15日(大阪).
- 35) 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 扇谷晶子, 田村なおみ, 大門良男, 小澤哲夫, 北島 勲: Flow Cytometryを用いた血小板-白血球凝集体測定法の基礎的検討. 第50回日本臨床検査医学会総会. 2003年10月29日(広島).
- 36) 岩城有佳, 野手良剛, 森田未香, 多賀由紀子, 吉田郁子, 小澤哲夫, 北島 勲: *Serratia marcescens* のendonucleaseを不活性化させるフェノールDNA抽出の有用性. 第50回日本臨床検査医学会総会. 2003年10月29日(広島).
- 37) 奥田忠行, 北島 勲, 福永寿晴, 中村正人, 桑克彦: 富山県における標準物質を使用した11年間の血液ガスコントロールサーベイについて. 第50回日本臨床検査医学会総会. 2003年10月30日(広島).
- 38) 福永寿晴, 東 由佳, 中村正人, 奥田忠行, 濱田敏彦: 血液ガス測定用標準物質を用いた血液ガス分析装置の正確さの調査-2002年度-. 第50回日本臨床検査医学会総会. 2003年10月30日(広島).
- 39) 小方則夫, 北島 勲, 舟田 久, 井上 博: HBV感染予防international evidence共有の必要性: HBs抗体評価はHBワクチン種と測定法により乖離する. 第50回日本臨床検査医学会総会. 2003年10月30日(広島).
- 40) 林 史朗, 佐竹伊津子, 細谷孝子, 本波春香, 北島 勲, 菅生昌高, 藤木 明: ホルター心電図から求める心拍数別QT時間基準値設定の試み. 第50回日本臨床検査医学会総会. 2003年10月30日(広島).
- 41) 柴 則子, 森田未香, 大門良男, 北島 勲: 糖尿病の新しい病態マーカーの検討. 高感度CRP値とTGは正の相関, アディポネクチンとTGは負の相関. 第50回日本臨床検査医学会総会. 2003年10月30日(広島).
- 42) 延野真弓, 多葉田祥子, 道野淳子, 西野主真, 江口富子, 榎本伸哉, 安村 敏, 北島 勲: AIHA合併妊娠で同種抗体(抗体S)を認めた1症例-Peg自己抗体吸収法を中心に. 第21回日本輸血学会北陸支部総会 2003年10月(金沢).
- 43) 北島 勲: 冷えと痛みに対する和漢薬の探求. 平成14年度和漢薬・バイオテクノロジー研究会. 2003年11月7日(富山市).
- 44) 所 崇, 北島 勲: 第三世代HMG-CoA還元酵素阻害剤Pitavastatinの一酸化窒素(NO)を介した血管内皮保護作用. 第2回とやま産学官交流会. 2003年11月11日(富山市).